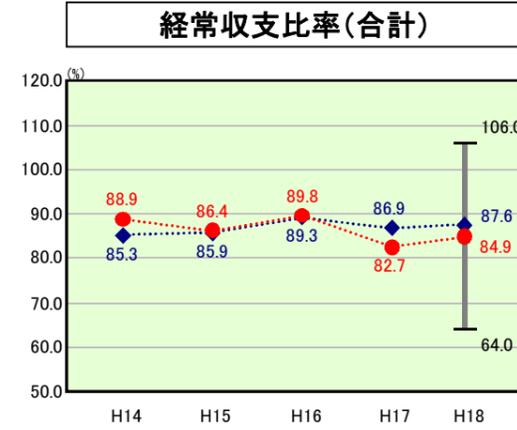


歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

長野県 木島平村

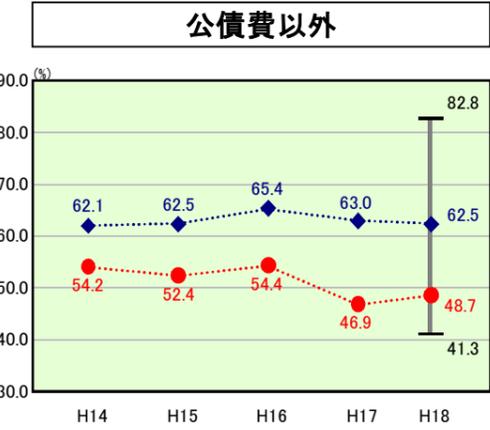
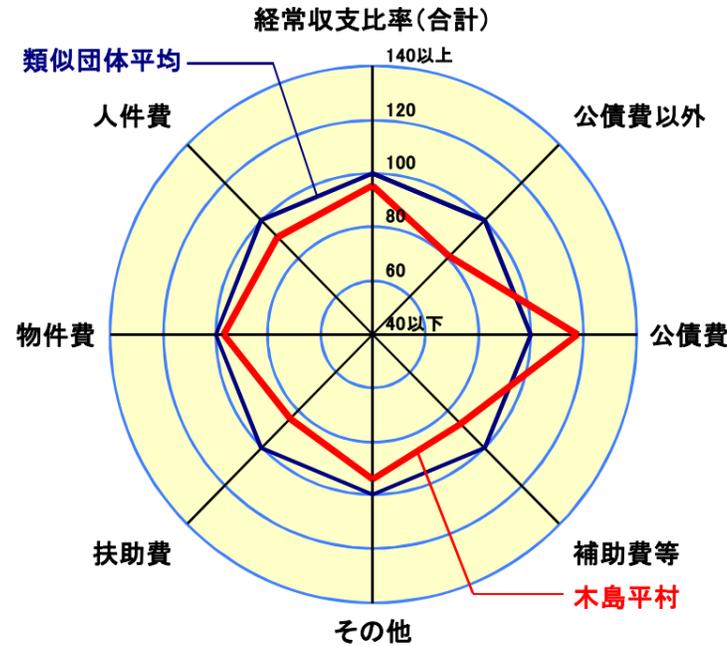
経常収支比率の分析



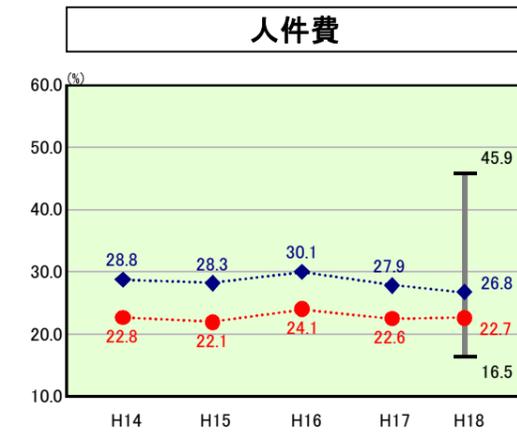
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 T
類似団体内最小値 I

人口 5,505人(H19.3.31現在)
面積 99.31 km²
歳入総額 3,900,296千円
歳出総額 3,823,727千円

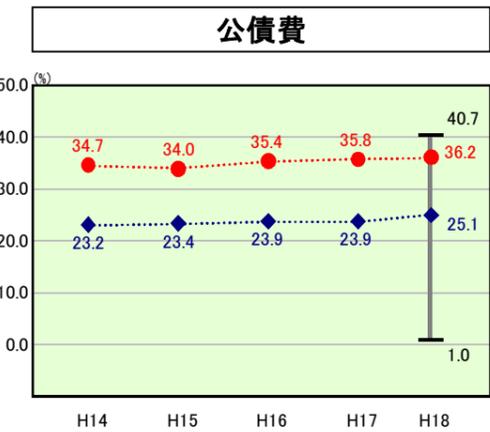
H18類似団体内順位 29/124
全国市町村平均 90.3
長野県市町村平均 83.7



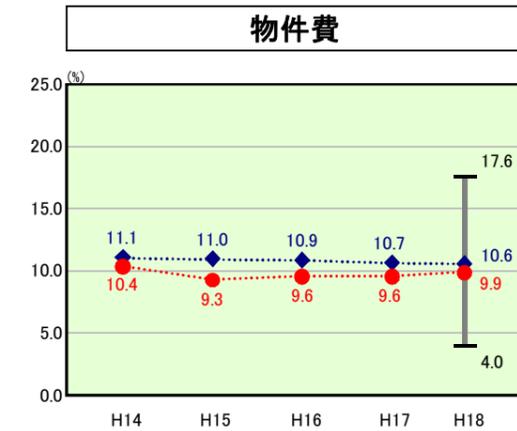
H18類似団体内順位 2/124
全国市町村平均 70.5
長野県市町村平均 62.0



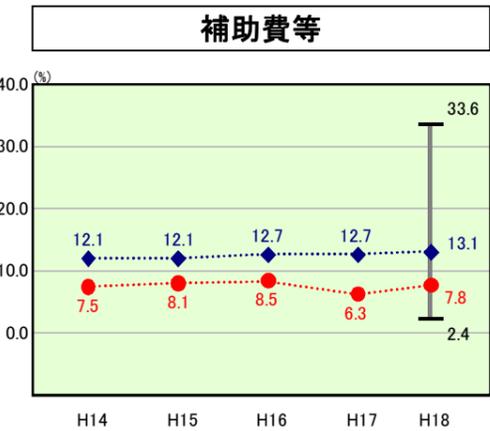
H18類似団体内順位 21/124
全国市町村平均 28.2
長野県市町村平均 22.7



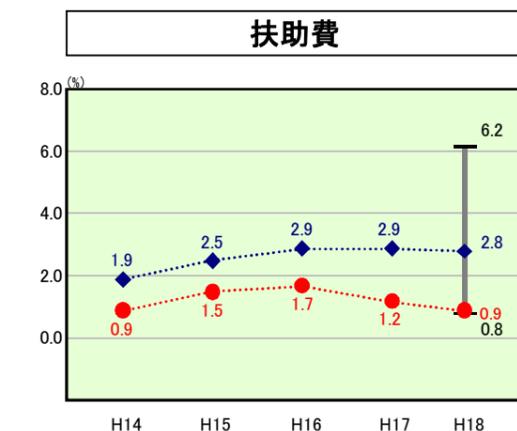
H18類似団体内順位 118/124
全国市町村平均 19.8
長野県市町村平均 21.7



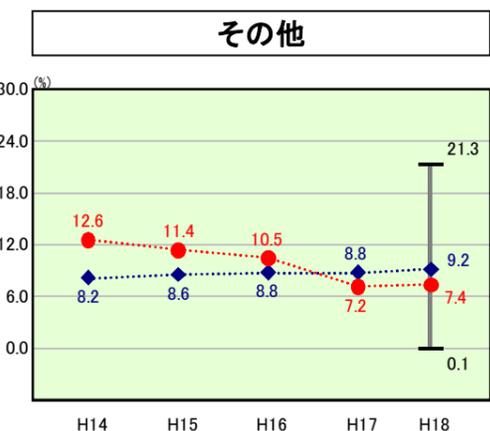
H18類似団体内順位 57/124
全国市町村平均 12.9
長野県市町村平均 11.6



H18類似団体内順位 9/124
全国市町村平均 10.2
長野県市町村平均 12.1



H18類似団体内順位 2/124
全国市町村平均 8.6
長野県市町村平均 5.3



H18類似団体内順位 31/124
全国市町村平均 10.6
長野県市町村平均 10.3

- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

経常収支比率: 公債費はピークを過ぎ減少傾向にあるが、経常一般財源で大きな割合を占める人件費、物件費、補助費等、繰出金がほぼ横ばいに推移しているため、依然高水準にある。平成16年度に策定した「自立プラン」で保育園・小学校の統合と、行政組織の再編で一般職員80人(平成19年4月1日現在)を21年度までに74人程度まで削減、さらに特別職、一般職及び議員報酬の削減や、給食センターのパート化で人件費等の経常支出の削減に努め、21年度決算時には80%程度を目標としている。

人件費分析: 人件費に係るものは平成18年度において22.7%と類似団体を下回っている。新規採用の抑制、平成19年度からは給食調理員のパート化を行い、平成21年度以降は小学校・保育園の統廃合が計画されていることから、今後削減されていく見込である。

公債費分析: 平成3~12年度までの集中投資によるふれあいの園整備事業や下水道事業による起債の償還が17年度にピークを迎えたことにより、公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰出金や公債費充当一般財源等額が類似団体に比べてかなり高くなっているが、大型事業がほぼ終了し、新規発行を抑制しているため、今後は減少が見込まれる。また、ゴミ処理施設建設事業を19年度に着工したため、一部事務組合が起ちた地方債に充てたと認められる負担金は、今後若干増える予想される。

普通建設事業費分析: 平成16年度が過去5年で大幅に突出しているのは、老朽化した有線放送施設に代わる情報通信施設を整備したためである。近年の類似団体平均の減少率に比べると、本村の減少率は大きくなっているが、これは情報通信施設整備事業を行うために前後年度で普通建設事業を抑制していたためである。平成18年度は、集合住宅建設事業があったため、前年に対して増加率が高くなっているが、生活基盤整備的